

野田市斎場及び関宿斎場指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月16日（木）午後3時25分から午後3時50分まで
開催場所 市役所 5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、企画財政部長、総務部長（副委員長）、行政管理課長、
管財課長、市民生活部長、市民課長
欠席委員 なし
事務局 市民課、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

野田市斎場、関宿斎場の平成28年度（4月～12月）業務報告書及び平成29年度業務計画書の審査について

＜事務局より野田市斎場の平成28年度（4月～12月）業務報告書及び平成29年度業務計画書について説明＞

＜審議の概要＞

○副葬品のうち禁忌品について、指導はどのようにしているか。

→市民課窓口で火葬許可書を交付する際に「副葬品についてのお願い」を配布し、周知を図っている。

○使用料の入金の頻度というのはどのようにになっているか。

→協定書により決まっている。前の入金から直近までの分を毎週金曜日に納入している。

○苦情は他にはなかったのか。

→ご遺体を火葬後、何も動かさずにそのまま収骨するのではないかという意見があった。これは、地方や火葬施設での取扱いにより、違うことを説明し納得いただいた。また、動物火葬については、段ボールを持ち帰ることについてご意見があったが、火葬した後に段ボールがお骨に張り付いてしまうことがあり、お持ち帰りをお願いしていることを説明し、ご納得いただいた。

○野田市斎場の業務報告書5ページの職員の指揮監督・管理体制について、「職員のレベルに合わせた教育を行い、スキルアップに対する評価を取り入れ、一人一人がやりがいを感じる職場環境を目指しました」とあるが、具体的な内容と、全

職員参加の定例会の内容について教えてほしい。

→全職員対象の定例会で、各担当である火葬業務・受付等の自分の職種以外の苦情や出来事を、お互いに話し合うことで、スキルアップにつなげている。

その結果、市民との対応や業務に生かし、その職員の評価に反映している。

○以前、盗難事件があったが、その後、現金の取扱いは変わったのか。

→以前は、昼夜とも事務室内に保管していた。盗難事件後は、夜間の保管場所を変更している。

○業務報告の13ページ、非常勤職員の人件費の決算見込みが増えている理由は。

→退職等があり、研修等の費用が増加している。

○退職に伴う影響はなかったか。

→業務に支障はなかった。

○夜間の付添について、2人にしたが、その後の苦情等はないか。

→特に苦情はいただいていない。

<事務局より関宿斎場の平成28年度(4月～12月)業務報告書及び平成29年度業務計画書について説明>

<審議の概要>

○火葬炉内の整備により、火葬時間が短縮されたとあるが、整備はいつ行って、どのくらい火葬時間が短縮したか。また、火葬時間の短縮が燃料費にどう影響したか。

→火葬炉の工事は12月に実施した。27年度と28年度の単純比較では、1体当たりの火葬時間で4分程度の短縮と、燃料で約2リットルの減量となった。燃料費への影響は、燃料単価が月ごとに違うため、単純に燃料費が安くなるとは限らない。

○業務計画9ページ、職員が1名減になったが、予算の見込みは同じである。昇給する職員がいるのか。

→昇給の職員はいない。1名少ない分は現在の職員の中で調整し対応している。現在、欠員募集を行っている。

○関宿斎場の苦情は。

→特に無い

<審議の結果>

平成２８年度（４月～１２月）業務報告書及び平成２９年度野田市斎場業務計画書について、野田市斎場、野田市関宿斎場ともに承認

３ 閉会